

令和元年度

榛原中だより

1月号

令和2年 1月16日(木)

(<http://www.haibara-jh.ed.city.uda.nara.jp/index.html>)

本年度の重点

『自らの成長を実感できる学校』
夢を持ち、未来への可能性を創造していく生徒の育成

(文責：学校長 久保)

自分でやってみて伸びを確認める3学期に!!

あけましておめでとうございます。令和になって初めてのお正月を迎えました。今年の干支は『庚子-かのえ・ね-』で、始まりの意味を持つ『子』と力強さイメージする『庚』が合さり「大きな変化が生じる年」と考えられ、「過去の成果から引き継ぐべきものを維持しつつ新たな環境や局面に向けて体制を整えていくとよい年」とされています。新たなスタートをきった年度のまとめを、生徒達にとっては今の学年、特に3年生にとっては榛中生としてのまとめをする大切な時です。是非、「過去の成果から引き継ぐべきものを維持しつつ、新たな環境や局面に向けて体制を整えていく」庚子の年らしい一年にしてほしいと思っています。

三学期は、「自分でやってみて伸びを確認する」に挑戦してもらいたいです。みんなと学習をしていて、わかったと思っていたことが、本当に自分の力になっているのか、どれくらい出来るようになってきているのかを確認め、出来ていないところがあったら、進級・進学をする前に出来るようにしておきたいです。また、素晴らしい成果をその時だけでなく様々な場面で活用できる能力として身につけたり共有したりするためには、しっかり振り返り自分の伸びを確認しておくことが大切です。確認するためには、頭でわかったことを自分でやってみたり言ってみたり書いてみたりして、わかったということ、目で見ること、耳で聞くことが出来るように【見える化】することが大切です。三学期は、「わかる」など頭の中の見えない思考を、やってみる・言ってみる・書いてみる、という見える化する小さな挑戦を意識して行い伸びを確認しましょう。

先日、ある本に【温故創新一故きを温ねて新しきを創る-】という言葉を目にしハッとしました。よく知られた故事成語「温故知新」の先にあるゴールに向かう学び方だと感じたから

温故創新一 ～令和の挑戦～

です。今年日本で初めてスマホの持ち込みを許可をした私立中学校の入試が話題になりました。例題として、「日本中にアンパンマンのぬいぐるみは何個あると思いますか。資料にあたり、皆さんの考えを、言葉と式を使って表してください。」という算数の問題が示されました。この問題にはこれしかないという答えはありません。問われているのは、何故そういう結論をだしたのかという自分の答えを導き出した道筋・考え方です。知識の量や細かさはAIがになっていく社会を生き抜く人材には、情報をどう得て、どう選び・どう活用するか、そのためにどう学ぶかという『自己調整学習能力』が求められるという考えに基づいた出題です。ただし、自己調整学習能力の基礎としての知識は必要であり大切です。「温故知新」というこれまで身につけてきた学力を振り返り、「知る」だけにとどまらない、真に必要とされる学力に磨き上げる「確認」をする3学期にしていきたいと思います。

草にも木にも いいことをしよう

3年生の先輩から学ぶ数年後の自分!

年末年始、TVでは多くのスポーツ中継があり、どれも大人気でした。中でも箱根駅伝は、もう国民的行事と言ってもいいくらいです。例年にまして、学生ならではの『筋書きのないドラマ』がくりひげられました。人は何かから感動をもらうと、自分を振り返る生き物なのだとということを再確認させられました。

それに近い感覚が、今、学校内でも見受けられます。いろんなシーンで3年生から受験直前の緊迫感が伝わってきて、その度に小さな感動をもらっています。近くで中3の様子を見て、中2の生徒たちが『来年はこんな感じか〜』と(遠い目で)見ていることもあるようです。

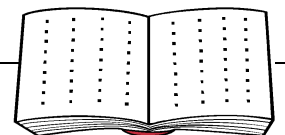
人生で初めて膨大な時間を使って努力し続ける時期ですが、誰もが通る道でもあります。体調管理も含め全員で乗り越えることを願っています。後輩の皆さん、先輩に学び、先輩を超えましょう!

『努力して成功すれば、自信となり、
努力して失敗すれば、経験となる。』
『努力しないで成功すれば、天狗となり、
努力しないで失敗すれば、諦めるのみ。』

「天は、自ら助くる者を助く!」

3年生の皆さんは、進路決定の時が近づいてきています。今まで受験生と接して言えることは、「受験生だからと言って特別なことをしないで、淡々と日常生活をきっちりとこなしていた子が成果を上げていた」ということです。合格も不合格もあります。でも、それで終わりではありません。一晩泣いたら、次に向かってスタート!きっとその手には、失敗から学んだことをたくさん握っているはず!冒頭に紹介した「天は、自(みずか)ら助(たす)くる者を助(たす)く」の意味を紹介して、3年生への激励の言葉とします。

天は公平で、依怙(えこひいき)しない
努力した人にいい結果を与えてくれる
人はだませても、天と自分をあざむくことはできない



運やツキもあります。でもやはり、いちばん幸せを運んでくれるものは、**自分の努力**ではないでしょうか。

それぞれの入学試験まで、残された時間をリズムを崩さず、有意義に使ってください。

2020年も君たちの才能が花開くことを祈ります。

ガンバレ!! 榛原中 ガンバレ!! 榛中生

☆ 部活動等の情報は2月号でお知らせします(ごめんなさい)

人にも自分にも いいことをしよう

草にも木にも いいことをしよう 人にも自分にも いいことをしよう